

2011
第89号
平成23年7月20日

編集 市議会だより編集委員会
発行 えびの市議会

えびの市議会だより



平成23年9月定例会は9月2日開会

- 〔3月〕
 - 25日 三月定例会閉会
 - 28日 高機能消防指令センター竣工式
 - 28日 市議会だより編集委員会
- 〔4月〕
 - 1日 市議会だより編集委員会(5日・11日・14日)
 - 3日 えびの市消防団入隊団式
 - 7日 春の「地域安全・交通安全」運動決起集会
 - 11日 全員協議会
 - 12日 九州国際高等学校入学式
 - 19日 兵庫県南あわじ市議会運営委員会行政視察
 - 22日 飯野高等学校を守り育てる市民の会会議
 - 26日 政策討論会第一回幹事会(座長・副座長選出)
 - 27日 四月臨時議会
- 〔5月〕
 - 13日 環霧島会議・霧島ジオパーク推進連絡協議会総会
 - 23日 政策討論会第二回幹事会(政策討論会議題検討)
 - 24日 宮崎県市議会議長会総会(西都市)
 - 24日 西諸広域行政事務組合臨時総会
 - 25日 人権社会確立第三十一回全九州大会(鹿児島市)
 - 26日 飯野高等学校を守り育てる市民の会会議
 - 30日 全国自治体病院経営都市議会協議会定期総会(東京都)
 - 30日 九州国際高等学校中国留学生歓迎会(国際交流センター)
- 〔6月〕
 - 2日 九州市議会議長会定期総会・理事会
 - 3日 議会運営委員会
 - 6日 六月定例会開会

議会日誌

平成23年度一般会計予算は 2億2,703万円を追加し

総額 105億3,125万円に

国民健康保険特別会計 3,947万円を減額し……………総額36億5,792万円
介護保険特別会計（保険事業勘定）166万円を追加し……………総額26億8,384万円

6月
定例会

四月臨時会

四月二十七日に臨時会が開かれ
議案1件、報告2件を審議しまし
た。

●国民健康保険条例の一部が改正
されこれを承認するものです。

①出産育児一時金を35万円から

平成二十三年六月議会は、六日
から二十七日までの二十二日間開
かれました。議案9件、報告5件、
請願1件、陳情1件、意見書案1
件が提出され審議されました。

●一般会計の補正の主な歳入は、
財政調整基金1億5603万円を
繰入するもの。

主な歳入は東日本大震災災害支
援費1798万円は、宮城県気仙
沼市及び山元町に職員派遣し復旧
作業等に当り、被災者又は、避難
指示に基づく避難者を受け入れす
る時に伴う生活支援金、移動支援
金、就学支援金などです。企画費
65万円は、えびのIC高速バス

39万円に増額し四月一日から支
給されます。

②地方税法施行令の一部を改正す
る政令の規定による要件を備える
ため、市の国民健康保険条例も
一部改正するものです。保険税は、
所得割と資産割（応益額）、平等割
と世帯割（応能額）の合算額を基
礎課税額としていますが、基礎課
税額にかかる限度額を50万円か
ら51万円に、後期高齢者支援金
等課税額にかかる限度額を13万

利用者の待合所を駐車場に建設す
るものです。国保財政安定化支援
繰入金1億4261万円は、被
保険者の応能割保険税の負担能
力不足を補う必要から、財政支
援するもの。消防自動車購入費
1863万円は、第二分団第一部
の更新のため。森林の戸籍づくり
の事業費942万円は、高齢又は、
病弱等で管理できなくなった森林
の状況確認、境界確認をして、台
帳を作成する。

みやぎきの花産地パワーアップ
推進事業費430万円は、ラナン
キュラス研究会が取り組む新設
ハウス、2年養成球根費などに。

円から14万円に、介護納付金課
税額にかかる限度額を10万円か
ら12万円にそれぞれ引き上げる
ものです。

③一般会計予算の補正、最終処分
場地下水処理設備工事1921万
円は、遮水シートが破損して地下
水に流れ込んでいたので、応急処
置としてポンプピット設備と希硫
酸中和処理設備を設置します。

●介護保険特別会計補正
認定調査嘱託員報酬等166万
円は、介護認定調査嘱託員。

●国民健康保険特別会計補正
予算額3947万円減額となっ
た主な要因は、歳入面で、所得の
確定により国保税が収入減となっ
たこと。

全国市議会議長会表彰者

市議会在職期間十五年以上

高牟禮 宏邦 議員
蔵園 晴美 議員

4月臨時会における議案等の審議結果

1. 議案等

会期：4月27日（1日間）

番 号	件 名	審議結果
報告第 2号	専決処分したえびの市国民健康保険条例の一部を改正する条例の承認について	承 認
報告第 3号	専決処分したえびの市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の承認について	承 認
議案第 34号	平成23年度一般会計予算の補正（第1号）について	原案可決

6月定例会における議案等の審議結果

1. 議案等

会期：6月6日～6月27日（22日間）

番 号	件 名	審議結果
報告第 4号	平成22年度えびの市一般会計継続費繰越計算書について	—
報告第 5号	平成22年度えびの市一般会計繰越明許費繰越計算書について	—
報告第 6号	平成22年度えびの市観光特別会計繰越明許費繰越計算書について	—
報告第 7号	平成22年度えびの市一般会計事故繰越し繰越計算書について	—
報告第 8号	専決処分した平成23年度えびの市一般会計予算の補正（第2号）の承認について	承 認
議案第 35号	固定資産評価員の選任について（木村哲也税務課長）	同 意
議案第 36号	議決事項の変更について（無線放送施設設置工事請負契約の変更）	原案可決
議案第 37号	えびの市国際交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 38号	えびの市税条例の一部改正について	原案可決
議案第 39号	平成23年度えびの市一般会計予算の補正（第3号）について	原案可決
議案第 40号	平成23年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正（第1号）について	原案可決
議案第 41号	平成23年度えびの市介護保険特別会計予算の補正（第1号）について	原案可決
議案第 42号	平成23年度えびの市観光特別会計予算の補正（第1号）について	原案可決
議案第 43号	平成23年度えびの市一般会計予算の補正（第4号）について	原案可決

2. 請願・陳情

番 号	件 名	審議結果
請願第 5号	公契約法制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保について国に対する意見書提出を求める請願書	採 択
陳情第 12号	タスポカード導入後売上減少の為運営資金助成陳情	継続審査

3. 意見書案等

番 号	件 名	審議結果
委員会提出意見書案第2号	公契約法制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書（案）	原案可決

一般質問

一般質問は、六月十七日から二十一日まで十人の議員が質問に立ちました。今回は、防災への備えや物産館建設などが主要なテーマとなりました。

えびのから日本一の種牛を

上原 康雄 議員

質問 昨年の口蹄疫で県内のほとんどの種雄牛が処分され、和牛農家の不安は大きなものがある。そこで、一日も早い種牛の育成が必要である。市内にも高い能力のある母牛がいる。また、全国から優秀な種牛の精液が提供されており、その精液を有効に活用して日本一の種牛を造りたいという和牛農家の大きな目標がありますが、市としての取り組みは。

市長 市内にも種雄牛を生産するために指定された母牛が12頭いる。各関係機関と協議をしながら、えびの産の種雄牛の生産に努

力する。

質問 公共施設の節電対策について市職員の節電に対する意識が低いように思う。市長も節電対策については指示されていると思うが不十分な面があるように思う。どのような指示をされたのか。

市長 節電対策については電力の無駄使いをしないように色々と指示を出している。職員も理解して節電に努力していると思う。しかし、不十分な面もあると思うので、今できる事が何かを十分に協議して節電対策の強化を図りたい。

原子力発電所の総点検を

西原 政文 議員

質問 十八年の豪雨では、川内川が一時時間足らずで増水し避難の時間的余裕が無かった。誘導態勢など増水時の対策の見直しと対策本部の体制マニュアルの再検討が必要だ。

総務課長 速やかな避難が重要であり、市民への情報は3段階に分けて避難路が冠水しないうち状況判断して発信することに努

めている。また、ボートなどの活用と地域の防災体制の強化など研究をする。

質問 柳水流、向江、麓地区は六月の雨で浸水が心配されたのでポンプの増設など重要だ。西境川は水量が多く増水で島内地区の浸水が心配されるので、国土交通省にポンプの設置を求めて頂きたい。

市長 なぜポンプが無いのか状況を調査し、必要なら対処する。

質問 川内原子力発電所は、えびの市からわずか60km。同様に玄海原子力発電所は180kmしか離れていない。市民の安全を守るべき市長として総点検と川内三号機の増設中止を求めらるべきだ。

市長 全国市長会で総点検するように決議をした。これが最大の効果が有り影響力があると考え

事等に伴い無償提供された民地部分及び農地であるにもかかわらず宅地の評価額で課税されているケースも見受けられる。また、農業用施設用地と家畜排せつ物管理用設備に係る課税については、減免措置や特例法の措置が講じてあるが、登記処理及び課税は適正に行われているのか疑問に思う。今後の対応を含め明確に示せ。

建設課長 地域交通の利便性、安全性、必要性が優先され、過去において土地所有者の承諾のみで工事が実施されたものや、登記すべき土地自体に問題があつて、事務処理が出来なかつたケースも考えられる。

市長 行政課題として今後解決しなければならぬ問題と認識している。課税については関係課及び関係機関との連携を図り未然に防げるように指示を行う。

税務課長 農業用施設用地等の課税減免については、農業振興地域計画図と固定資産課税台帳の整合性をとり、漏れがないよう努める。また特別措置等が交付された場合には関係課と連携を取り周知徹底を図る。

税務行政・危機管理意識を

竹中 雪宏 議員

質問 固定資産税の課税に対する処理について、市道拡幅改良工

福祉避難所の設置を

外園 三千男 議員

質問 未曾有の被害が出た東日本大震災で防災意識が高まっています。「地域防災計画」が策定されているが、災害時に一般避難所では生活に支障を来す人たちのために、何らかの特別な配慮がされた避難所が必要とされている。厚生労働省から「福祉避難所設置、運営に関するガイドライン」がだされた。「高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦などを対象に福祉施設管理者と福祉協定を結んで福祉避難所を開設するように通達されているが。

市長 特別な配慮を要する人に対して、福祉避難所設置をうながしているので指定に向けて担当課に指示した。

質問 室内にいと無線放送が聞きとりにくい場合がある。通話無料で音声自動応答サービスの導入の考えは。

総務課長 二十三年二月に親局の更新になるので検討する。

市長 屋外無線以外の伝達の方法を考えなくてはいけない。

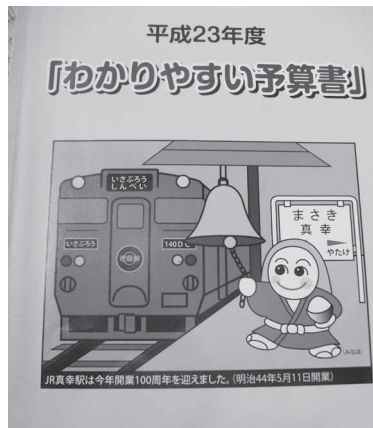
質問 防災資材及び食料、救援

物資等の備蓄計画は。

総務課長 食料備蓄は膨大な量と管理衛生面など課題がある。今後更に検討する必要がある。

市長の政治姿勢について

松窪 ミツ工 議員



各家庭に配布されたわかりやすい予算書

質問 市民から、配布されたわかりやすい予算書に「ほっとな」の言葉が項目ごとについているが、この意味は何かと聞かれた。この語源について伺います。

市長 今回、作成したわかりやすい予算書の「ほっとな」の形容詞については、第4次総合長期計画の中で、計画を分かりやすく表した文言である。それに準じて、この予算書についても、項目別に

説明しているところである。

質問 市民はそのところがかつていないのではないかと。市長 いいイメージの言葉だと思っているが、市民に伝わっていない部分があったことに対しては反省している。

質問 市長に対する市民の様々な声が聞こえてくるが。

市長 私のメッセージが市民に伝わっていない部分に関しては、さらに強いリーダーシップを発揮していくべきだと反省する。

質問 市長の毅然とした姿勢を。

市長 最終的には政治的な責任を取っていく立場がある。市民の意見を聴き、えびの市の方向性や自分の考え方を市民に分かりやすく伝えていく。

温泉と物産館、併設の考えは

宮崎 和宏 議員

質問 えびの市には基金を積立しているが総額いくらあって、その運用はどうなっているのですか。

財政課長 総額65億9706万8千円あります。運用について

は市内の金融機関に預けてあります。

質問 運用利子についてはどうなっているのですか。

財政課長 金融機関ではペイオフ制度で1000万円しか保障されませんので、借入れ担保で16億円を定期預金してあります。残りは無利子で預けてあり、保障はされません。

質問 京町活性化につなげるために旧やたけ荘跡地に温泉センターを建設し、その中に物産館も併設したら相乗効果を生んで京町活性化につながると思いますが。

市長 現在京町活性化に向けて若い人たちを中心に頑張ってもらっている。市が温泉センターを建設すると既存の温泉旅館に悪影響がでたら活性化につながらない



遊休地化しているやたけ荘跡地

と思います。

質問 福祉タクシー券は市内に子どもがいれば、世帯は別でも利用できず不公平である。年齢を引き上げてでも全員に支給できないか。

市長 今後検討してみたい。

えびの駐屯地について

本石 長永 議員

質問 えびの駐屯地存続が危ぶまれている。市としても市民の安心、安全な暮らしを守るために、えびの駐屯地存続は必要不可欠と考える。市に駐屯地誘致後三十年になる。この間の基地周辺事業など交付金、補助金は総額100億円以上に及び、えびの市の発展に大きくつながっていると考える。

市長は五月二十二日、三十周年記念式典の際、隊員と共に発展するまちづくりを進めて行きたい、また駐屯地の存続増強運動もさらに真剣に取り組みたいと挨拶された。基本的な取組はどのようになるのか。

市長 基本的には期成同盟会を中心に考えている。併せて情報収集に努めてまいります。

質問 末永橋から高速道路ガード下までの歩道が狭く、さらにカーブになって、車道と歩道との段差もない大変危険な状態である。子供達の通学道路であり一刻も早い歩道の拡張と、ガードレールの設置が必要である。

建設課長 現地を見て大変危険な状態であるので、第一段階として歩道にガードレールを設置できるように県土木事務所に要望してまいります。

物産館の課題解決は

北園 一正 議員

質問 市長は平成二十二年三月定例議会施政方針で、物産館建設を進めると述べられた。市長の基本的な考えを確認する。

市長 物産館建設は前市長時代から計画があった。私もこれに同調して建設計画を進めている。

質問 物産館建設は、現在えびの市のかかえる重要な政策課題である。基本計画には、次のような課題があり十分に議論すべきである。
① えびの市の主な農産物は、畜

産・水稲（米）である。年間を通じて物産館に出荷できる商品の品揃えができるのか。

② 市内には、えびのっ娘や他の直売所も数カ所ある。競合して共倒れになるおそれがある。

③ 厳しい営業実態がある、市内の小売店にも影響がでてくる。

④ 用地買収・建物設計等の計画が先行して、物産館の運営体制・商品の供給体制が十分検討されていない。

⑤ 道の駅を併設する計画もあるが建設予定地は直接国道に接していないので、国・県の事業で実施は難しい。市の事業となり、負担増となる。

市長 問題点を整理するために専門家を雇用して協議していく。



JA直営店のえびのっ娘

物産館の設計を先行する理由とは

池田 孝一 議員

質問 物産館建設基本計画ができ、これから真剣な協議が必要だ。建設の重要課題である運営体制や農産物等の集出荷体制の確立にめどが立っていない。この状態で建物の実施設計を先行する理由は何か。

市長 基本計画の中でスケジュールも示したが、今回、国の補助採択を受けて基本設計・実施設計に入るもので、このことが、運営体制や集出荷体制等の構築に向けた市民への「説得力」となる。

質問 物産館建設に市民への説得力となるのは運営体制が確立し、集出荷体制の確立にめどが立つことだ。運営体制の確立が来年の五月になるなら、今年度の建物の実施設計にどう責任を果たすのか。

集出荷・商品供給体制も白紙の中で、館の規模をどう決められるか。

市長 今回の基本・実施設計の予算に議決が得られれば、運営体

議会からの お知らせ

議会報告会を開催

月 日	会 場	開会時間
8月4日(木)	飯野地区公民館	午後7時30分から
	市役所 (本庁1-1会議室)	
8月9日(火)	真幸地区体育館 (集会室)	
	上江地区公民館 (上江地区体育館内)	

えびの市議会基本条例第7条の規定に基づく議会報告会を左記日程で開催します。

昨年は、口蹄疫の発生により十一月開催となりましたが、今年度は早めの開催となります。

報告会は、二日間、4会場で実施します。どの会場でも参加できますので、多くの市民の皆さまの参加をお願い致します。



制の確立やその他の課題解決に向けた具体的話が進むと考え、設計と同時に進めていく。

質問 その進め方では議会として責任が持てない。

市長 今回は設計の予算だけの議決であるが、重要なステップは議会にそのつど公表していく。



物産館敷地ゾーニング図

公民館建設の実現を

栗下 政雄 議員

質問 VLFを特定防衛施設に

していただければ、障害防止事業、民生安定事業、基地周辺整備事業などが法律に基づいてできません。坂元地区、大明司地区は、VLFを建設する時から工事用の車

が搬入したり非常に車の往来が多かった。この地域は自分たちの庭先まで道路として提供しながらやってきました。この大明司地区や坂元地区はVLF建設時には最大の協力をしている。これが今では風化している。VLFを特定防衛施設に昇格していただいたうえで、この地区に公民館を建設すべき。市長は防衛省に、区民の熱意を強く要望してほしい。

市長 地域の公民館広域のコミュニティ共用施設を建設したいという地元の皆さんの要望もお聞きしております。現在ではVLFの関連事業としての建設は難しい状況ですが、防衛事業で何とかできないものか、担当課を通して九州防衛局等に依頼をしている。

質問 公民館建設には最大の力を発揮していただきたい。

市長 公民館を建てたいという要請もきておりますので、担当課に指示をしております。



総務教育常任委員会報告

当委員会では、報告1件、議案5件及び陳情1件を審査し、陳情1件を継続審査とし、ほかの案件は原案のとおり承認または可決すべきものと決定しました。これら議案等は本会議においても承認、可決されました。

以下、主な審査事項について、審査内容の一部を報告します。

①平成二十三年度一般会計予算を2億2703万8千円増額

■東日本大震災支援関係

職員派遣費用や市内に避難した被災者を支援するための給付金（児童生徒の就学支援）を審査しました。

Q 職員の派遣先と人数、期間は。

A 宮城県気仙沼市へ四人（実績は三人）、それぞれ九日間。七月以降は同県山元町へ四人を同期間派遣する計画です。宮崎県や全国市長会と連携・協力して派遣します。



高速バス待合所を設置する市借受地（永山地区インターバス停そば）

■震災支援以外の補正関係

Q 今回、市内に縁故避難の支援実例が1件あったと聞く。就学支援の実績はあるか。

A 今後を想定し予算を組んだが、現在、対象者はいません。

Q 高速バスえびのインターバス停への待合所（一・三坪）の設置場所は市借地だが、所有者との借地契約はどうなっているか。

A 年間20万円の賃借契約です。

Q 飯野高校を守り育てる市民会の委員会の開催はどのような場合のものか。

A 現在実施中の署名を活用した県教育委員会への陳情など活動強化を図るためのものです。

②市国際交流センターの宿泊料金、使用料金等を改定

宿泊施設の料金（一泊2030円）は、十二泊以上は月額料金（2万3440円）としていましたが、これを留学生に限り適用することとします。また、これまで使用料金がなかった部屋も使用料金を定めることで、使用できるとにするものです。

Q 新たに使用料を払って、使用できるようになる部屋は。

A 現在の「資料室」と「交流室」が利用可能になります。

Q 現在の指定管理者に支払う管理運営委託料は変わるのか。

A この改正は来年四月からの適用であり、現指定管理者との委託料には影響しないが、来年度の利用料金の増収が見込まれるので、この分、委託料は減額されます。

総務教育常任委員長 池田 孝一



新たに料金改定された研修室（現資料室）



新たに料金改定された交流室

産業厚生常任委員会報告

今期定例会で、産業厚生常任委員会に付託されたのは、報告1件に、議案5件・請願1件であり、今回付託された報告及び議案は、全て予算の補正に関わるものであり、報告1件、議案2件が一般会計分、議案3件が特別会計分でありました。

審査結果については、報告案件が、全会一致で原案のとおり承認すべきもの、議案五件が、いずれも全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。請願については、全会一致で採択すべきものと決しております。

審査内容については、物産館建設に係る予算と請願について報告します。

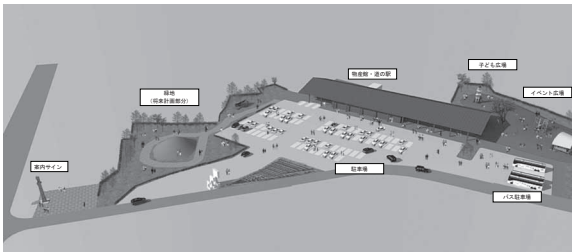
①物産館建設の基本・実施設計委託料

物産館建設については、多くの議員が一般質問を行いました。委員会では今後の対応を含め予算に対する考え方を市長に質疑を行いました。

市長質疑では、今回の補正予算が、国から物産館建設の基本・実施設計委託業務に対する補助金の内示を受けたことにより提案に至った旨の説明があり、また、本予算の執行については、十月を予定しており、「執行するまでに議会や物産館の運営母体となる発起人会の意見等をこの設計に反映させていきたい」と説明がありました。

主な市長質疑は次の通りです。

Q…多くの意見を聞いてよい物産館にしたいと言われるが、多くの意見が聞けば、基本計画に変更を生じる可能性もあり、基本計画を出すのはもっと遅く



イメージ図

てもよかったのではないかと。基本・実施設計を委託に出す前に、検討すべきではないか。

A…物産館建設事業の採択を受けるには、ある程度根拠をもった計画を立て、一番に、基本的な考え方を示さなければならなかった。設計については、まだいろいろな形の修正等ができる部分でもあるので、具体的に運営する方や出店する方の意見を聞きながら、精度の高い建物の設計にしていきたい。

Q…4億4000万円という多額の経費をかけて、万が一失敗したらどうするのか。「最小限度の投資をすべきでないか」といった市民の声が議員にも寄せられている。物産館建設に多額の子算をかける必要があるのか。
A…4億4000万円の支出については、レストランや売り場の面積等を考慮した結果であり、また、現在示している計画が、一番スタートでやっている形と考えている。



国道側から見た物産館予定地

②公契約法制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保について国に対する意見書提出を求める請願書

本請願は、公共工事の契約において、適正な賃金支払い等の労働条件を確保するため、国への意見書提出を求めたものであります。委員からは、公共事業関係において、末端業者としては、賃金がカットされ、大変厳しい現状にあるとの認識が示されました。また、国会における労働条件等の確保に努めることの附帯決議が、早急に実行されるべきとの意見が委員の大勢を占めました。

産業厚生常任委員会 本石 長永

初の政策討論会開催

(平成23年7月1日)

—物産館建設に活発討論—

条例に基づく

政策討論会を初開催

平成二十二年三月議会において議会自らが提案し、制定したえびの市議会基本条例に基づき「政策討論会」を初開催しました。

この政策討論会は、同条例の16条で、「議会は市政に関する重要な政策及び課題に対して、議員間の共通認識及び合意形成を図る」ことを目的に開催したものです。すでに実践している議会報告会(第一回は昨年十一月十日、十一日開催)に続き、二つ目の議会改革を開始しました。初回の七月一日は、「物産館建設について」をテーマに各議員が市民から得た意見やこの間研究・研修してきた成果が報告されるとともに、建設に向け解決すべき課題に様々な角度から疑問や課題認識が出されました。

一方、議会は、物産館建設に関する基本・実施設計委託料の予算を六月定例議会で可決しています。物産館建設に議会としてはゴーサインを出しているわけですが、市

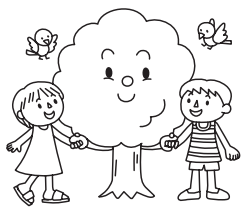
執行部も「物産館建設基本計画」を進めるうえで未解決な幾つかの重要課題があることを認めています。また、これらの課題は今後の取り組みと並行して解決し、議会に示していくとしています。従って、議会としてはこの課題解決が示されるまでの間に政策討論会によって、物産館建設に関わる共通認識と合意形成を図り、一定の結論を得たものは市長に対し提言することになっています。

第一回政策討論会での主な討論市民からの意見として

- 物産館建設に向けた取り組みは、始まってから数年が経ち、市民の意識は変わってきている。
- 早期の完成を望む声もある。
- 運営主体となる人材や、その内容が重要との声や建設費の大きさを心配する声がある。
- 物産館基本計画の課題について
- 物産館を「道の駅」の機能も併せ持つものに整備するということなら、最初から国道に面して建設し、道の駅の機能を見越した規模、配置にすべきだ。
- 建設に関わる重要課題は、運営体制の確立と商品の集出荷体制の確立であることを指摘したとこ

ろ、市長は、これら体制確立は今後の設計と並行して進め、九月以降に示すと答弁している。そうなると、これら重要課題が解決するかは示されるまで判断できないことになる。ただ、この課題をどう解決すべきかを議会として論議し、合意形成することは重要だ。

- 集出荷体制の確立や加工品・野菜等の安定供給体制の確立も可能なのかが問題だ。
- 調査した高知県の物産館の経営は株式会社であるが、運営手法は見習うべき点がある。市民出資も取り入れている。
- しっかりとした経営方針を持つ人材を公募する方法もある。
- 物産館オープンまでに、いかに安定供給体制をつくるかを考えると、新規生産者の育成確保が重要だ。
- さまざまな体制確立などは、これからであり、果たして平成二十五年度当初のオープンに間に合うかは疑問だ。



地方議会議員年金制度が廃止されました

要因は、全国的に実施されたいわゆる平成の大合併が大規模かつ急速に進んだことによる議員数の減に加え、行政改革に伴う議員定数や議員報酬の削減が行われ、財政状況が急速に悪化。地方議会議員共済会の運営は、平成二十三年

度には年金を含む共済給付金に要する積立金が枯渇する極めて危機的な状況となりました。総務省及び全国市議会議長会等において一昨年より年金制度の見直しについて種々検討されてきましたが、地方議会議員年金制度の廃止措置を講ずる「地方公務員等共済組合法の一部を改正する法律」が成立。六月一日から施行され、これに伴い地方議員年金が廃止されました。

主な改正内容は次のとおりとなります。

●平成二十三年六月一日に地方議会議員の年金制度は廃止。制度廃止時に、議員を退職して退職年金を受給されている人（年金支給年齢に達していない人を含む）については、現行どおり退職年金の支給が継続されます。

●地方議会議員年金制度の廃止時において地方議会議員である議員は、次の要件で議員を退職された際、退職年金か退職一時金のいずれかが給付されます。

一 在職12年以上の議員

廃止法の施行日である平成二十三年六月一日現在、現職議員である議員のうち、平成二十三年五月三十一日までの在職期間が12年以上の議員は、次の給付のうちいずれかを選択することができます。

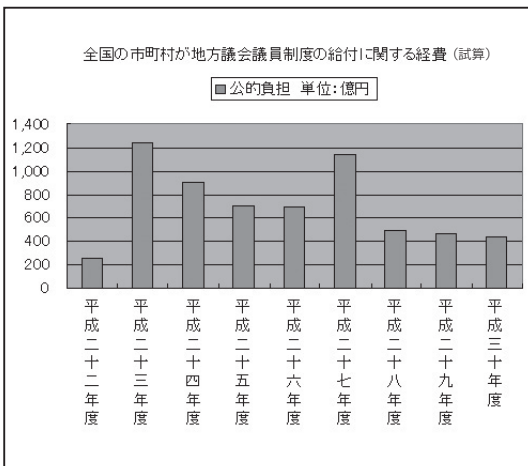
① 制度廃止前の地方議会議員年金制度による退職年金を受給。

② 議員在職中に納付した掛金及び特別掛金の総額の80%の退職一時金を受給。

二 在職12年未満の議員

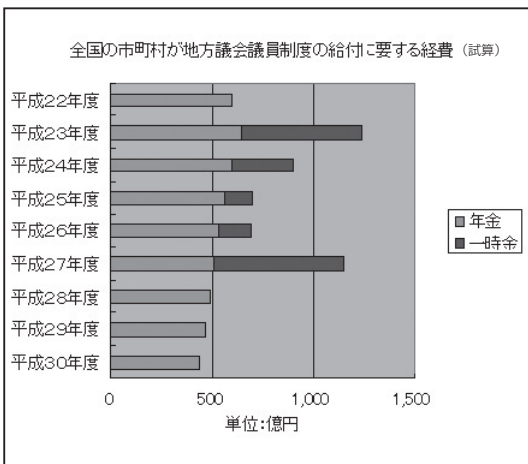
廃止法の施行日である平成二十三年六月一日現在、現職議員である議員のうち、平成二十三年五月三十一日までの在職期間が12年未満である議員は、議員在職中に納付した掛金及び特別掛金の総額の80%を退職一時金として受給。

平成二十三年六月一日に地方議会議員の年金制度が廃止されたことにより、今まで、毎月議員が各自共済会に納付していた掛金については、平成二十三年六月以後納付する必要がなくなりました。このため地方議会議員年金制度の給付に要する費用は、各議員の個人負担と地方公共団体の負担で運営されていきましたが、廃止法により、議員個人よりの納入がなくなつたため、地方議会議員共済会が保有する残余の積立金を除き、地方公共団体が負担することとされました。したがって、地方公共団体が負担する額が平成二十三年度より大幅に増加することになりました。



グラフの数値の説明
年度別の所要額及び総額は、いずれも平成二十三年一月以降の退職者のうち、年金受給資格者（在職12年以上）の議員全員が一時金を選択した場合のもの。この場合、公費負担額は短期的には増加するものの、早期清算により将来的には負担の抑制が図られます。平成二十四年度以降は概数で試算されています。

したがって、えびの市においても、平成二十二年度に共済負担金として市が支出した額は、910万5千円。平成二十三年度は4798万5千円（見込）の負担金となり、大幅な増額となったものです。





えびの市が行っている東日本大震災の支援の取り組み

3月11日、東日本大震災が発生し未曾有の被害が発生し、数万人の尊い人命が失われた。また、福島第一原発事故で避難を余儀なくされ二重三重の悲しみ、苦しみの中、多くの国民が被災地の皆様とともに復旧復興に向けて努力、共働、協力されています。

宮崎県でも、口蹄疫、鳥インフルエンザ等で国民の皆様にご義援金、物資等をいただきました。

東日本大震災発生直後、えびの市は一早く義援金を日本赤十字社に届けました。

東日本大震災で被災された方々を支援していくことになりました。

主な事業は次のとおりです。

東日本大震災により被害を受けられた方々への支援制度（事業の抜粋）

支援制度名称	支援内容		
市営住宅の提供支援	市営住宅2戸、定住促進住宅20戸 市営住宅の受入れ期間：原則として6ヶ月(更新する場合は最長1年以内) 市営住宅入居に係る敷金・家賃免除 保証人：不要 一時金：一世帯当たり10万円を支給 生活費：一人当たり月4万円を支給	財産管理課	
仮住宅支援(旅館等)	旅館、ホテルの受入れ期間：3ヶ月(状況に応じて延長3ヶ月有) 宿泊代：一人一日当たり3食付で5,000円を市で負担 生活諸費：一人当たり月1万円を支給	工課 観光商	
仮住宅支援(親戚・知り合い等)	被災者の受入れの際の移動経費(片道分)を助成 ※事前に連絡のあった方のみ (実費)6月8日現在 件数：1件(避難者で親子2名)生活諸費を支給	福祉事務所	
被災地支援	義援金募金 23年9月30日まで受付	義援金箱を市内5箇所に設置しております ①えびの市役所本庁 ②社会福祉協議会 平成23年7月11日現在額…13,490,000円 区：7,067,279円 一般：6,422,721円 (企業・団体…67件 5,413,854円、個人…75件 1,008,867円)	企画課
	救援物資(受付は終了しています)	救援物資の受付は3月26日から市職員・ボランティアで対応し、4月15日で受付終了(県の方針で) 平成23年4月15日現在 物資受件数…57件 実績(バックごはん36食、野菜・果物ジュースなど6箱、使い捨て食器など、キャベツ810個(1箱8玉)、紙おむつ(乳児用と高齢者用)、タオル690枚、無洗米5kg×36袋など)	社会福祉協議会
	ボランティア	ボランティアの問い合わせについては社会福祉協議会で対応	
	人的支援のために職員派遣	全国市長会からの要請で宮城県気仙沼市へ職員派遣 6月7日～15日…1人、6月13日～21日…2人 今後は県からの要請で宮城県山元町へ4人を8月に派遣予定	総務課

編集後記

六月に入ると、学校のプールが賑わい、児童たちの元気で明るい弾けた声が聞こえて来だした。この平穏な日々は感謝の気持ちでいっぱい、いられます。

東日本大震災で、東北の皆さんの暮らしが一変してから早四か月が経ったが、国政の混迷・原子力発電所・放射能等の問題が追い打ちを掛けて、一向に復興への兆しが見られない。被災者の皆さんの一日も早い復興を願っています。

現在、市政において市民の皆さんの一番の関心は、「物産館建設問題」ではないでしょうか。

六月定例議会でも、「もつと市民の意見を反映した、市民のための物産館建設を目指すべきでは」と等の一般質問も出されたところです。また、今月一日に開催した議会政策討論会では、議題を「物産館建設問題」のみに絞り自由討論しました。市民の声を反映した各議員の活発な意見が出ました。討論会は今後も開催します。

えびの市消防団夏季点検・操法大会があり、気合いの入った競技が行われた。えびの市民の命と財産の守り手である消防団員に、ご苦労です、ありがとうございますと感謝の言葉を伝えたいです。

編集委員 松窪 ミツエ